



「知りたい」を大切に

副校長 池長 健吉

草木の新緑が眩しく感じ、窓の隙間から爽やかな風が届けられる季節となりました。しかし、神奈川県では、4月20日から新型コロナウイルス対策として「まん延防止等重点措置」が実施されることとなりました。本校でも、日々の学校生活や授業での感染防止対策を見直し、一層の注意を払いながら教育活動を進めています。

このような中でも、金沢小学校の子どもたちは、新しいクラスにも少しずつ慣れ、1学年進級したことを実感しながら前向きに学校生活に取り組んでいます。4月に入学した一年生も、学校の様々なところを探検して学校に慣れてきています。その一年生が学校探検中に会うといろいろなことを話かけてくれます。木の実のようなものを手に持って、「これ何だと思う、何が生えてくるかなあ。」またある子は、数匹のダンゴムシを両手に大事そうに抱えて、「あっちにダンゴムシの王国があるよ。メスもいるよ。」と教えてくれました。子どもたちの言葉や目には、もっと知りたいという思いや、発見したことへの満足感がたくさん感じられました。今年度は、新指導要領が小学校で全面実施となって2年目となります。その中には「主体的・対話的で深い学び」の実現が目指されています。

「何かを言えば、何かは伝わる」と思いがちですが、相手が「聞こう」という姿勢をもち、話す内容が、相手が「聞きたい」と思うことと合致していなければ話の内容は入っていきません。「意見を押し付け、諭す」よりも、「相手の話をじっくりと聞いて、話してもらう中で解決策を見つけて解決していく」方が学習として深まり、次の学習にもつながっていきます。だからこそ、一方的に知識を伝えるのではなく、子どもたちの「知りたい」という思いを引き出し、自らその「知りたい」を解決していける主体的な学び支えていく姿勢を大切にしていきたいものです。家庭でも、子どもの「知りたい」が膨らむように、じっくり話を聞く機会を増やしてみてください。

新一年生が、小学校での生活を安心してスタートできるように、学校での朝の荷物の片づけや学習への準備、また、給食の準備など多くの地域の方がボランティアとして活動してくださいました。一年生が生き生きと学校生活を送れているのには、ボランティアの皆さんの支えもあってのことと思います。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。